

報道関係者各位

ロッテ「キシリトールガム」×ハートツリープロジェクト第3弾  
ファミリーレストラン初！間伐材を有効活用して「ロイヤルホスト」メニュー敷紙を製造  
～敷紙に入った「キシリトールガム」の広告費が間伐材を有効活用するための資金に役立てられます～  
10月1日（木）以降、全国のロイヤルホスト 277 店舗で展開！

ハートツリー株式会社

ハートツリー株式会社（所在地：東京都港区、代表：服部進）では、植樹活動や森林保全を促進するために立ち上げた「ハートツリー・プロジェクト」と株式会社ロッテ「キシリトールガム」とのコラボレーションを「噛むエコ」として、環境保全活動を行ってきましたが、第三弾として、ロイヤルホールディングス株式会社のコラボレーションを実現しました。

今、日本の森は、植える、育てる、切る、使うの循環ができず、森が荒れる原因となっています。そのため、今回は特に「使う」に焦点をあて、間伐材の活用促進をテーマに企画しました。

本コラボレーションは、ロイヤルホストのメニューの敷紙（おすすめメニュー「洋食小皿」が対象）を間伐材の利用を促進する3.9ペーパーシステムで生産された紙を敷紙として、10月1日（木）以降、全国277店舗で展開されます。これは全国規模のレストランチェーンとしては初めての試みとなります。

\*間伐材…森林保全のために、樹木の生育を促すための間引きされた木材 \*3.9ペーパー…後述。

ロッテ「キシリトールガム」では、この敷紙を広告媒体として活用し、その広告費が間伐材を有効活用するための資金として役立てられます。

広告付敷紙



ロイヤルホスト「洋食小皿」



「ハートツリー・プロジェクト」は、今後も企業のマーケティングの力を活かす形で、日本の子どもたちの未来のために、植樹や森林保全、都市緑化等を推進していきます。

< ハートツリー・プロジェクトと株式会社ロッテとの共同プロジェクト >

➤ 第一弾

2008年9月から全国の小学校にて「楽しく学ぼう！歯の健康講座」を実施し、その記念として植樹を実施

➤ 第二弾

2008年11月からナチュラルローソンにて、吉野区のヒノキの間伐材を利用した広告付き割り箸を展開

< ご参考 >

3.9 ペーパーとは

国内の森林整備、および間伐材の活用を促進することに貢献する紙です。

特長としては、以下の4点が挙げられます。

間伐材を木材チップ工場に運ぶ運搬費用が紙の販売価格に上乗せされます。

森の整備、および間伐材の製紙原料利用に貢献したことを第3者機関が検証・証明する仕組みです。

つまり、間伐材を製紙会社に供給することで、その分の間伐材を使用したとみなしていただく仕組みです。今回は奈良県吉野郡の間伐材が活用されています。

林野庁が推進する木づかい運動のマーク(3.9グリーンスタイルマーク)をつけることができます。

既存の間伐材使用紙と比較して、低コストで環境に貢献できる紙です。

3.9 ペーパーは、CSR 報告書に活用されるなど、環境意識の高い企業での普及が進んでいます。

注意点：この敷紙そのものに、間伐材が「使用」されているわけではありません。

【会社概要】

会社名 : ハートツリー株式会社

住 所 : 〒106-0032 東京都港区六本木 5-18-18 シュアラスタービル 3F

設 立 : 2007年9月25日

代 表 : 服部 進

U R L : <http://heart-tree.com/>

---

< 本件に関するお問い合わせ先 >

ハートツリー・プロジェクト事務局 担当：年見（としみ）、服部

TEL :03-6893-5551